



令和 7年11月13日

報道関係者 各位

広島市役所 魅力創造部 文化財保存活用課

令和7年度特別展 『～広島市最大のミステリー「益田岩船」が見つめた～ 沼山古墳展望』開催のご案内

歴史に憩う広島市博物館では、令和7年11月22日(土)～令和8年2月15日(日)まで、令和7年度特別展『～広島市最大のミステリー「益田岩船」が見つめた～沼山古墳展望』を開催します。つきましては、下記の日程で記者発表会を実施いたします。

記

日 時 令和7年11月21日(金)10:00～

場 所 歴史に憩う広島市博物館 2階特別展示室

発表者 広島市 魅力創造部 文化財保存活用課 杉山

広島市白旗町、謎の巨石「益田岩船」の足元には、6 世紀後半に築かれた沼山古墳があります。ドーム状の天井を持つ横穴式石室に、ミニチュア炊飯具が副葬品として納められた、広島市内では唯一の古墳です。被葬者は渡来人の有力者とされています。令和 6 年 7 月 5 日、当市初の市指定史跡となりました。

沼山古墳のある貝吹山周辺には、高取町の与楽古墳群^{よらくこふんぐん}、明日香村の真弓鑑子塚古墳^{まゆみかんすづかこふん}といった渡来系の特徴を持つ古墳が存在します。それらの古墳の近くでは、渡来人が暮らした集落の跡も見つかっています。他方、広島市内では渡来人が伝えた技術を利用して、権力の基盤を築いた人々がいたと考えられます。

展覧会では、広島周辺にいた渡来人の活躍や、渡来人のリーダーたちの古墳、飛鳥時代の古墳と沼山古墳の関係をご紹介します。沼山古墳や益田岩船をめぐるミステリー、ぜひお楽しみください。

＜本件に関する問い合わせ先＞

広島市 魅力創造部 文化財保存活用課

広島市川西町 858-1

TEL:0744-47-1315 (直通)

担当:平岩、杉山